

状態監視ができないワンマンは問題だ！ 車いす用スロープを直ちに改良せよ！

安全対策の推進についての経営協議会

本部は4月24日、安全対策の推進についての経営協議会を開催しました。

会社から、2022年度の鉄道運転事故の発生件数は24件、輸送障害・運転阻害の発生件数は4,897件、労働災害は死亡事故1件、熱中症を除く発生件数は社員24件、関係会社21件という説明を受けました。

また、今年度の運転事故防止及び労働災害防止重点実施項目として、①ルールの全員遵守、②確認の徹底、③より質の高い教育・訓練の充実、④事前のリスク排除、⑤異常時における安全最優先の行動の実践について、説明がされました。

本部は、ワンマン列車については状態監視が物理的にできず安全が確保できないこと、車いすのスロープが未だに改善されていないことなどを指摘、改善を強く要求しました。

組合からの質問と回答

1. 在来線ホームのQRコードを利用したホーム可動柵開閉システムについて、実証実験の進捗状況と導入に向けた準備の進捗状況を明らかにすること。

【回答】

現在のところ、進捗状況については聞いていない。

2. 鉄道駅バリアフリー料金制度を活用して、2030年度までに5駅16番線のホーム可動柵の整備を推進するとしているが、その進捗状況について明らかにすること。

【回答】

2022年12月に新大阪駅20、21、22番線、金山駅4番線、名古屋駅は2021年4月から2026年3月までの5、6、7、8番線、2026年4月から2031年3月までに名古屋駅1、2番線、金山駅1、2番線、大

曾根駅1、2番線、千種駅1、2番線である。

3. 新型コロナについては、5月8日から特段の事情が生じない限り、感染症法上「5類 感染症」に位置づけることとされた。

(1) 営業職場等で行われている出勤時の検温はいつまで続けるのか、明らかにすること。

【回答】

検討中であり、適切に対応する。

(2) コロナワクチン接種について、今後の国の方針は必ずしも明確ではないが、会社としてインフルエンザワクチン接種のように定期的な職域接種を実施する考えがあるのか、明らかにすること。

【回答】

国の方針が決まっていないので、検討中である。

4. 締結中の休業協定書の今後の取り扱いについて明らかにすること。

【回答】

今後の状況を見ながら適切に判断する。マスクの扱いについても検討中である。

ワンマン列車は状態看視ができない！

組合：事故が令和3年度から増加している。乗車状況が良くなったからなのか。

会社：コロナにより需要の影響を受けやすい。需要が回復してきていることも要因である。

組合：車掌には状態看視が重点的に指導されている。大事なことだろう。

会社：そうである。

組合：業務改革でワンマン列車の拡大がある。ワンマン列車は状態看視ができない。状態看視ができない列車の運行を拡大することは安全とはいえない。通勤帯のワンマン列車もある。これに対する会社の考えはどうか。

会社：状態看視は大事なことである。ドアに挟んだ状態で列車を発車させることがあってはならない。起動前にドアとミラーをしっかりと確認しなければならない。

組合：2両でもカーブでは後部は確認できない。起動して降車の乗客が接近しても分からない。業務改革では3両以上のワンマンが計画されている。果たして安全といえるのか。

会社：2両編成においても、ドアに挟まっていないかを確認している。

組合：議論が食い違っている。走行中に接近したらどうかという話である。特に発車した後が怖い。ツーマンでないと安全は担保できない。

会社：会社としては対策は考えるが、どこまでできるかだ。点字ブロックの内側に入らないことが前提である。

組合：ワンマン拡大で今後は状況が変わってくる。キチンと対策をせよ。効率化を進めるということは、ハード面の設備改善が必要になる。重点実施項目として事前のリスク排除があるが、すでにリスクが明らかになっている。効率化優先にすると、安全最優先とはならない。

会社：リスク排除はしていく。

組合：315系のワンマン計画はあるのか。ワンマンは何両を予定しているのか。

会社：検討中である。

組合：実用化試験は行うのか。

会社：安全が確認できれば実施する。

組合：モニターを付けるようなことが言われているが、モニターでホームの安全を確認できたとしても、運転士は前方注視が大事だ。有人駅ならともかく、ワンマン線区は無人駅ばかりだ。どう対策をするのか。

会社：……。

地震による脱線防止対策を強化せよ！

組合：JR東日本では更なる脱線防止対策を打ち出した。JR東海では今後はどう進めるのか。

会社：JR東日本の対策の詳細は分からないが、当社では耐震補強や脱線させない設備をしていく。

組合：設備改良が進められようとしているが、東京の大井基地では建物が老朽化が進んで危険な状態だ。建て替えの計画はあるのか。

会社：対象とはなっていないと思う。

組合：立て替えを要求する。

組合：東京駅のホームアシストが付いている番線で停止位置不良が発生した。自動運転を進めようとしている中、絶対に停止位置不良が起きないとされているアシストのところで、現に発生したことをどう考えているのか。

会社：検討中である。

組合：アシスト機能を検証する必要がある。

車いす用スロープを改良せよ！

組合：新幹線の11号車のホームとの隙間だが、東京駅以外の駅ではどう対策をしていくのか。

会社：今のところ対策はない。勉強中である。

組合：スロープがストンと外れ、隙間から線路に落下する場合がある。会社はスロープは改良していると言っているが、フック部分は改良していない。

フックの傾斜に問題がある。何回も言うが、リスク排除・安全最優先と考えるなら、隙間を無くすかスロープ改良しかない。

会社：意見は承るが、ちゃんと使えば安全だと検証されている。

組合：会社は不安全を承知で作業させている。何かあっても責任は問うな。

浜名湖の橋脚の耐震化は進めないのか！

組合：新幹線の橋脚の耐震化について、川や浜名湖はどうなっているのか。

会社：持ち合わせていない。

組合：会社は大津波が来ても浜名湖は大丈夫だと言った。地震が起されば橋脚もダメージを受ける。

会社：浜名湖の橋脚が該当するかは分からない。

組合：地方で経協などがあれば説明せよ。

組合：動物との衝突対策について、何か考えているのか。

会社：これまで対策をしてきたが、難しい。

組合：いろいろ考えてほしい。

以 上